

第2章 公共施設の概況

1. 対象施設

本書では、公の施設（住民の福祉を増進する目的をもって設置された施設（条例で規定））を中心に、公の施設ではなくても市民の利用の多い、あるいはサービスを提供している行政財産や普通財産の施設を含めた、以下の177施設を対象とします。

表 対象施設の一覧表①

NO	施設名称	
1	宿泊等施設(ヒルトン小田原リゾート&スパ)	
2	市役所本庁舎	
3	競輪場	
4	サンサンヒルズ小田原	
5	市民会館	
6	国際交流ラウンジ	
7	市民活動サポートセンター	
8	女性プラザ	
9	地域センター	① 川東タウンセンター「マロニエ」 ② 城北タウンセンター「いずみ」 ③ 橋タウンセンター「こゆるぎ」
10	市民集会施設	① 酒匂市民集会施設 ② 下府中市民集会施設 ③ 下曽我市民集会施設
11	支所・地域センター住民窓口 連絡所・窓口コーナー	① 大窪支所 ② 早川支所 ③ 豊川支所 ④ 上府中支所 ⑤ 下曽我支所 ⑥ 片浦支所 ⑦ 曾我支所 ⑧ 橋支所 ⑨ マロニエ住民窓口 ⑩ いずみ住民窓口 ⑪ 中央連絡所 ⑫ アークロード住民窓口 ⑬ 国府津駅前窓口コーナー ⑭ 酒匂窓口コーナー ⑮ 桜井窓口コーナー
12	斎場	
13	扇町クリーンセンター	
14	清掃工場	
15	リサイクルセンター	
16	社会福祉センター	
17	鴨宮ケアセンター	
18	前羽福祉館	
19	下中老人憩の家	
20	生きがいふれあいセンター「いそしぎ」	
21	保育所	① 下曽我保育園 ② 江之浦保育園 ③ 曾我保育園 ④ 早川保育園 ⑤ 上府中保育園 ⑥ 豊川保育園 ⑦ 石橋保育園 ⑧ 桜井保育園 ⑨ 城山乳児園
22	障害児通園施設「つくしんぼ教室」	
23	障害者自立支援施設「梅香園」	
24	障害者地域作業所「ありんこホーム作業所」	
25	歯科二次診療所	
26	片浦診療所	
27	保健センター	
28	勤労者会館	
29	起業家支援センター	
30	なりわい交流館	
31	公設青果地方卸売市場(青果市場)	
32	いこいの森	
33	梅の里センター	① 梅の里センター ② 曾我みのり館(梅の里センター分館)
34	小田原城址公園	
35	小田原城天守閣	
36	小田原城歴史見聞館	
37	公設水産地方卸売市場(水産市場)	
38	辻村植物公園	
39	上府中公園	
40	小田原フラワーガーデン	
41	小田原こどもの森公園「わんぱくらんど」	
42	石垣山一夜城歴史公園	
43	久野霊園	
44	市営住宅	① 市営蓮正寺住宅 ② 市営橋住宅 ③ 市営螢田住宅 ④ 市営かすみのせ住宅 ⑤ 市営霞田住宅 ⑥ 市営浜住宅 ⑦ 市営谷津住宅 ⑧ 市営福井島住宅 ⑨ 市営栢山住宅 ⑩ 市営柳町住宅 ⑪ 市営桑原住宅 ⑫ 市営久野住宅 ⑬ 市営浅原住宅 ⑭ 市営久所住宅 ⑮ 市営仲沢住宅 ⑯ 市営春木住宅 ⑰ 市営籠場住宅 ⑱ 市営花里住宅 ⑲ 市営早川住宅 ⑳ 市営東町住宅
45	下水道コミュニティホール「かるがも」	
46	多古しらさぎ会館	
47	寿町終末処理場	
48	市立病院	

表 対象施設の一覧表②

NO	施設名称			
49	消防本部・消防署	① 消防本部庁舎(消防署本署)		
		② 南分署(消防署分署)		
		③ 北分署(消防署分署)		
		④ 東分署(消防署分署)		
		⑤ 城北分署(消防署分署)		
		⑥ 西大友分署(消防署分署)		
50	水道局			
51	小学校	① 三の丸小学校		
		② 新玉小学校		
		③ 足柄小学校		
		④ 芦子小学校		
		⑤ 大窪小学校		
		⑥ 早川小学校		
		⑦ 山王小学校		
		⑧ 久野小学校		
		⑨ 富水小学校		
		⑩ 町田小学校		
		⑪ 下府中小学校		
		⑫ 桜井小学校		
		⑬ 千代小学校		
		⑭ 下曽我小学校		
		⑮ 国府津小学校		
		⑯ 酒匂小学校		
		⑰ 片浦小学校		
		⑱ 曾我小学校		
		⑲ 東富水小学校		
		⑳ 前羽小学校		
		㉑ 下中小学校		
		㉒ 矢作小学校		
		㉓ 報徳小学校		
		㉔ 豊川小学校		
		㉕ 富士見小学校		
		52	中学校	① 城山中学校
				② 白鷗中学校
				③ 白山中学校
				④ 城南中学校
⑤ 鴨宮中学校				
⑥ 千代中学校				
⑦ 国府津中学校				
⑧ 酒匂中学校				
⑨ 片浦中学校				
⑩ 泉中学校				
⑪ 橋中学校				
⑫ 城北中学校				
53	幼稚園	① 酒匂幼稚園		
		② 東富水幼稚園		
		③ 前羽幼稚園		
		④ 下中幼稚園		
		⑤ 矢作幼稚園		
		⑥ 報徳幼稚園		
54	学校給食センター			
55	学校給食共同調理場	① 橋学校給食共同調理場		
		② 豊川学校給食共同調理場		
		③ 国府津学校給食共同調理場		
56	生涯学習センター	① 本館「けやき」		
		② 国府津学習館		
		③ 豊川分館		
		④ 上府分館		
		⑤ 曾我分館		
		⑥ 片浦分館		
		⑦ 大窪分館		
		⑧ 橋分館		
57	尊徳記念館			
58	小田原市集会所			
59	郷土文化館	① 郷土文化館		
		② 松永記念館(郷土文化館分館)		
60	市民学習フロア			
61	青少年相談センター			
62	塔ノ峰青少年の家			
63	総合文化体育館「小田原アリーナ」			
64	小田原テニスガーデン			
65	城山陸上競技場			
66	市営プール	① 御幸の浜プール		
		② 国府津海水プール		
67	庭球場	① 城山庭球場		
		② 小峰庭球場		
68	城内弓道場			
69	酒匂川スポーツ広場			
70	運動広場	① 鴨宮運動広場		
		② 高田運動広場		
71	図書館	① 図書館(星崎記念館)		
		② かもめ図書館		
72	文学館			

2. 施設の立地状況

地区別の施設の立地状況は、以下の図のようになります。

施設の分布状況としては、小田原駅を中心とした市街地部に主要な施設が点在していることや、支所や小中学校などの地域サービスを行う施設が各地域に配置されています。

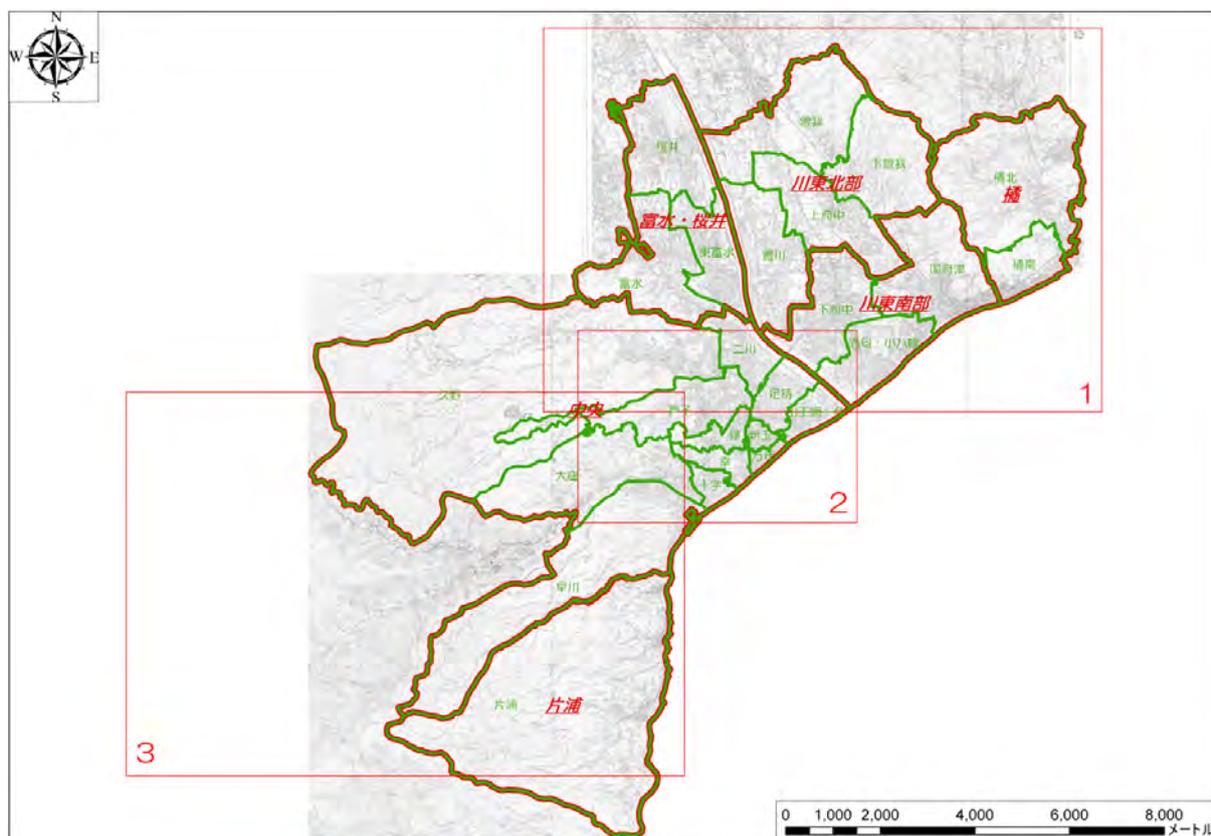
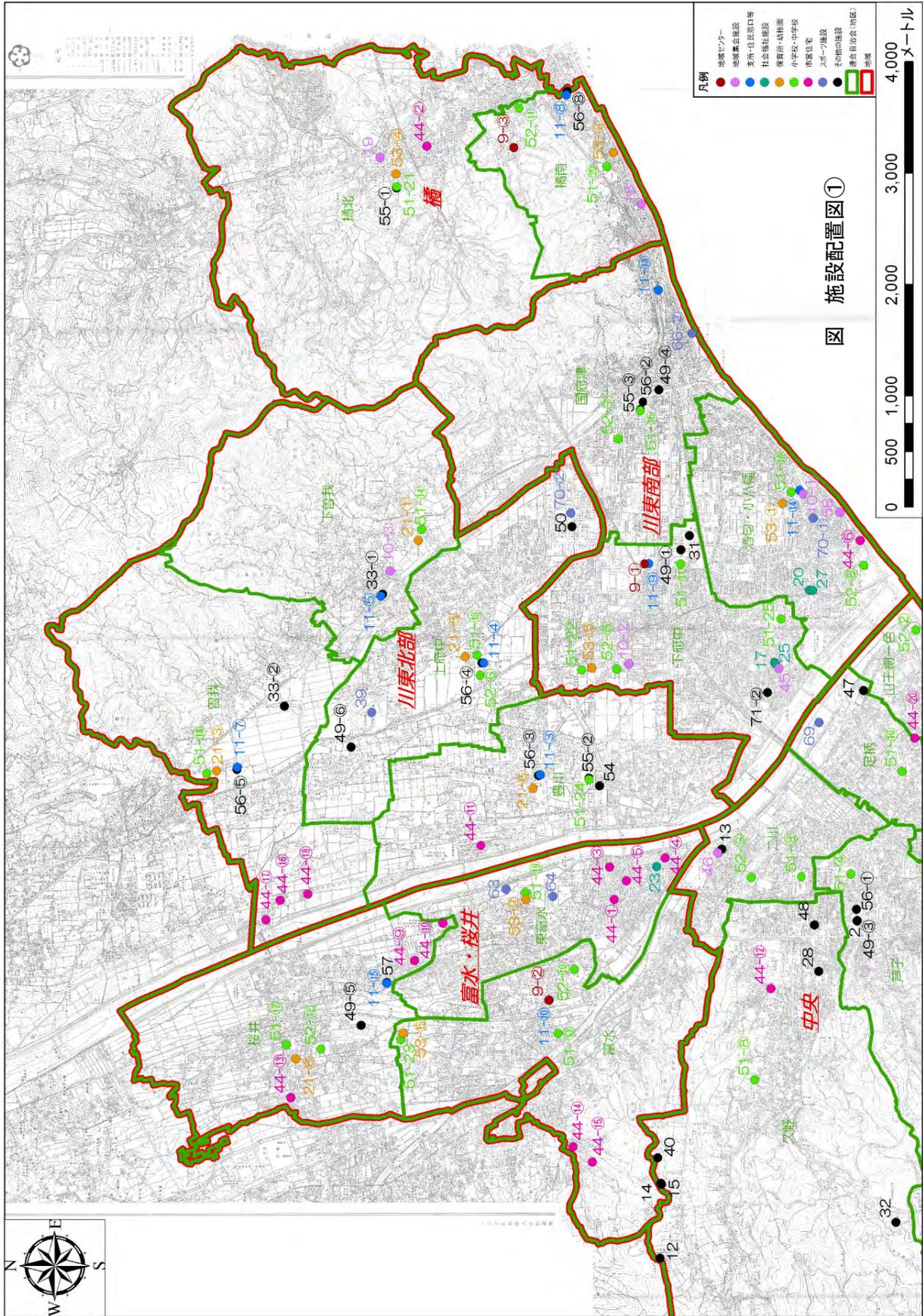
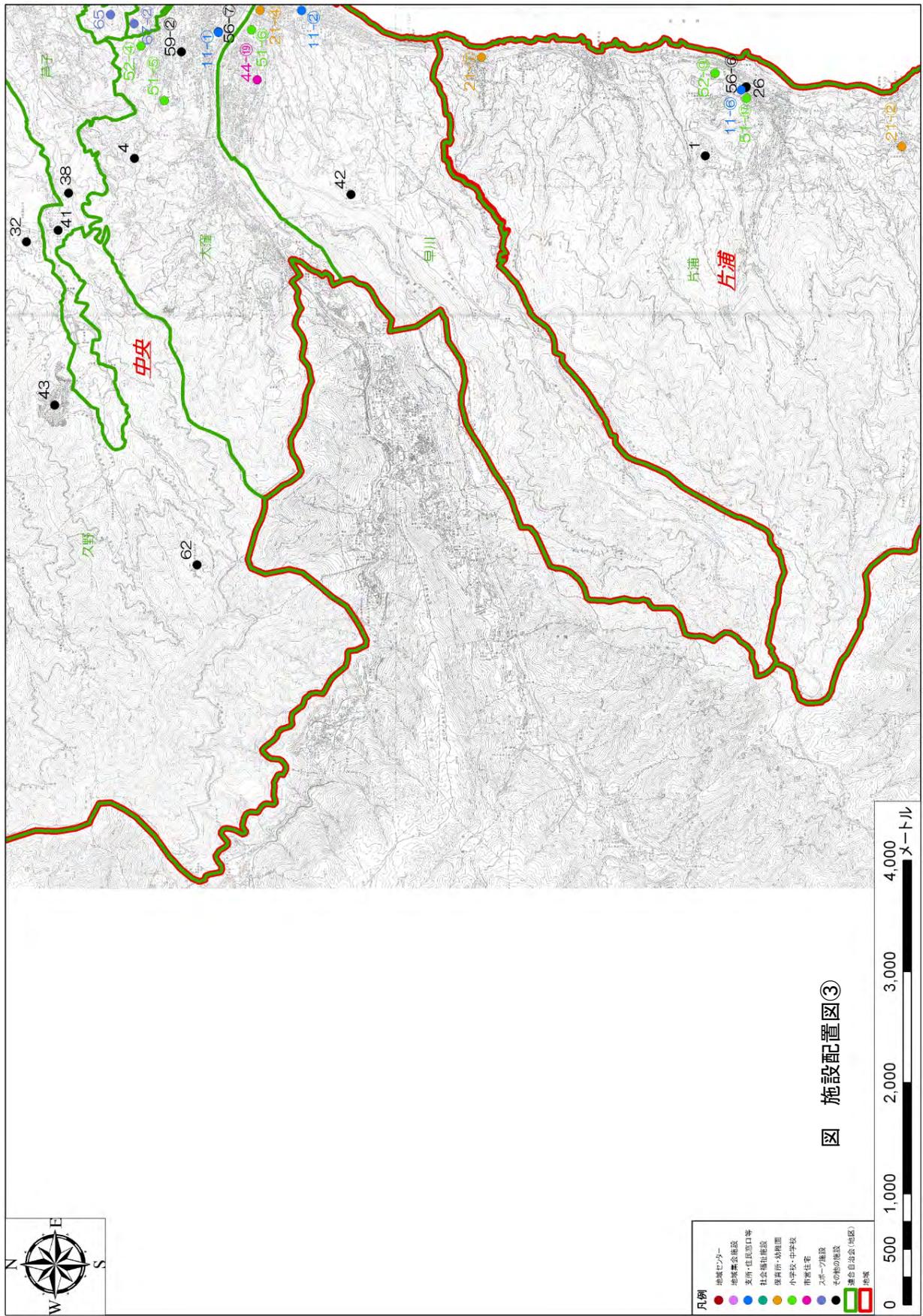


図 施設配置図（全体位置図）





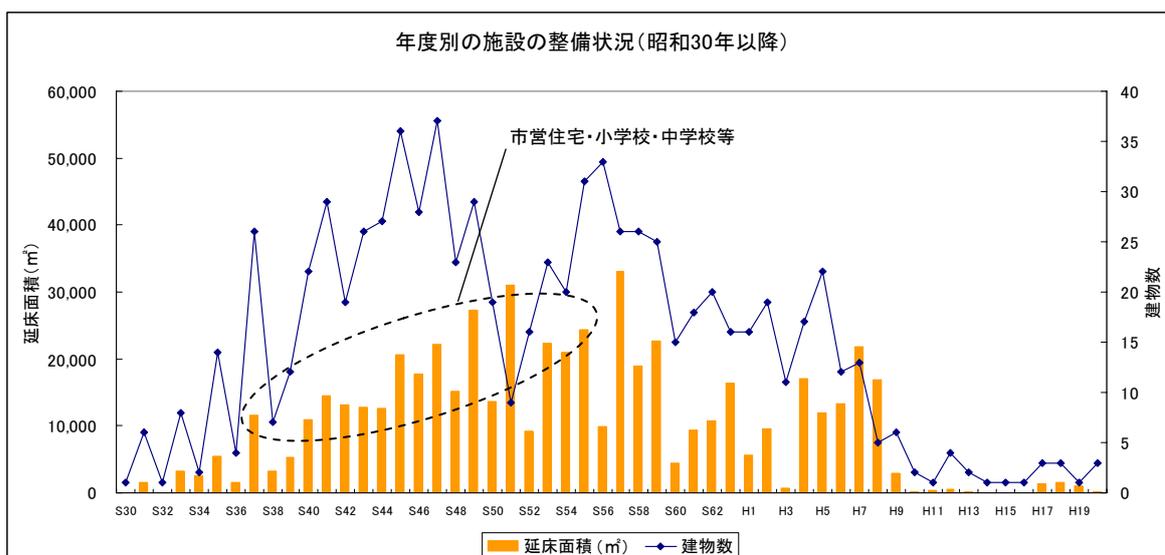
3. 施設の老朽化の状況

施設の整備状況としては、昭和 30～50 年代にかけて、小学校、中学校、市営住宅等の多くの施設が整備されており、築後 30 年以上を経過しています。

延床面積ベースでは、築後 20 年以上経過している施設が全体の約 8 割、築後 30 年以上の建物が全体の約 5 割を占めています。

また、対象施設別の施設数ベースでは、新耐震設計基準施行（昭和 56 年 6 月）以前に建築された施設（97 施設）のうち、補強の必要がないことが確認済み、もしくは耐震改修済みの施設は 6 割弱（55 施設）であることから、保育所や支所などの残りの施設（42 施設、全体の約 1/4）について、早期の耐震化が必要となっています。

なお、小学校・中学校・幼稚園については、新耐震設計基準施行（昭和 56 年 6 月）以前に建築された施設が多くありますが、すべての施設について耐震改修済み、もしくは耐震補強の必要がないことが確認されています。

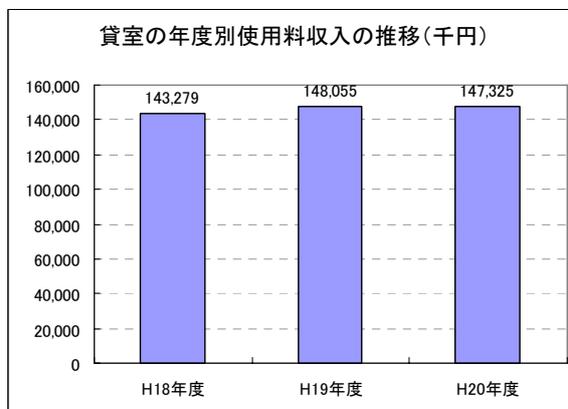
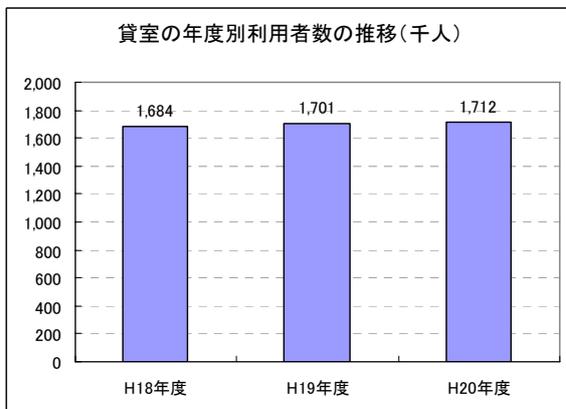


4. 施設の利用状況

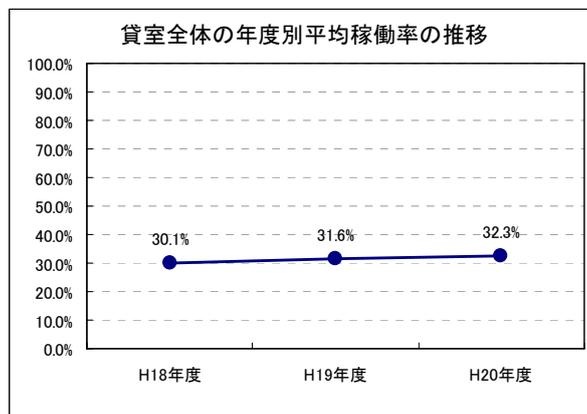
本市で貸室（ホール、会議室、体育館等）を提供している公共施設は47施設（地域センター、市民会館、生涯学習センター、小田原アリーナ、尊徳記念館など）あります。貸室の全体利用者数は、ほぼ横ばいで推移しており、年間の利用者数は、約172万人（平成18～20年度の平均）となっています。平成18～20年度の経年変化をみると、利用者数は若干の増加傾向にあります。施設別には、規模に比例して、市民会館（約24.2万人（H20））、総合文化体育館「小田原アリーナ」（約22.2万人（H20））、生涯学習センター本館「けやき」（約15.6万人（H20））、地域センター川東タウンセンター「マロニエ」（約14.3万人（H20））などが比較的多く利用されています。

使用料収入は年間約1.46億円（平成18～20年度の平均）で、経年変化については利用者数と概ね同様の傾向を示しています。施設別にも利用者数と概ね同様に、小田原アリーナ（約4,409万円（H20））、市民会館（約3,356万円（H20））などの施設での貸室の使用料収入が多くなっています。

また、貸室全体の平均稼働率については30%程度にとどまっています。施設別には、平成20年度の実績で地域センター（川東タウンセンター「マロニエ」、城北タウンセンター「いずみ」）や女性プラザ、市民活動サポートセンターなどの施設が貸室全体の平均稼働率で6割を超えている一方で、稼働率が1割以下となっている施設もあります。



※上府中公園は、利用団体数としている。



5. 施設の管理運営状況

(1) 維持管理費及び事業運営費の状況

施設全体の維持管理経費・事業運営経費の状況は、下の図表のとおりです。

平成20年度の実績で、歳出合計で約197.7億円、歳入合計で約100.6億円となっています。

経年的にみると、歳出・歳入とも概ね横ばいですが、平成20年度については若干増加傾向がみられます（歳出：約5.7%増（平成18年度比）、歳入：約2.5%増（平成18年度比））。

歳出の維持管理経費を多く要している施設としては、市立病院（約4.6億円）や、清掃工場（約3.2億円）、寿町終末処理場（約2.7億円）、扇町クリーンセンター（約2.1億円）など、社会基盤施設が多くを占めます。また、事業運営経費を多く要している施設としては、市立病院（約88.1億円）、消防本部庁舎（約6.6億円）、競輪場（約5.8億円）、清掃工場（約3.0億円）などが挙げられます。

また、平成20年度の実績で歳入の大きな施設としては、市立病院（約83.0億円、医業収入等）、宿泊等施設（約4.9億円、土地建物貸付収入等）、小田原城天守閣（約1.4億円、入場料収入等）が挙げられます。

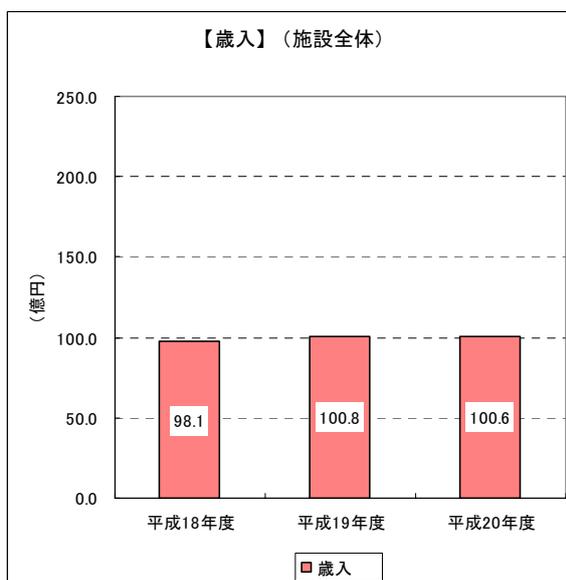
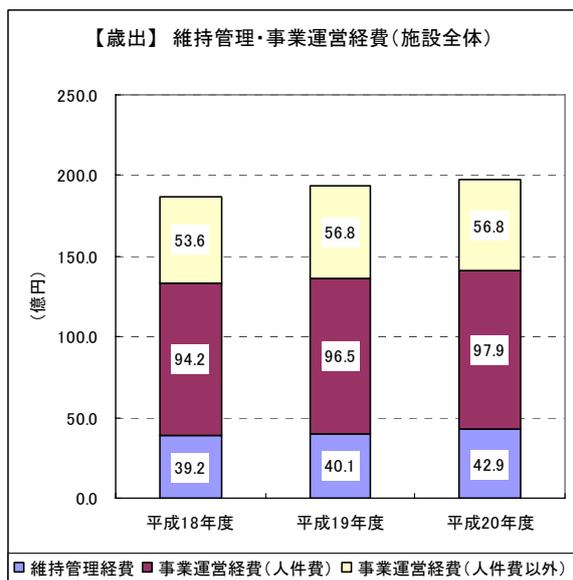
図表 建物の維持管理や施設の事業運営に要する経費（施設全体）

単位：千円

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
歳出(A) (千円)	18,699,784	19,341,763	19,770,883
維持管理経費	3,920,268	4,013,979	4,294,131
事業運営経費	14,779,516	15,327,784	15,476,752
(うち人件費)	9,419,174	9,651,249	9,794,609
歳入(B) (千円)	9,809,116	10,076,531	10,055,009
歳出－歳入 (A－B)	8,890,669	9,265,232	9,715,874

※維持管理経費：光熱水費や清掃業務委託料、土地借上料など、建物等の維持管理に要した直接的な事業費

※事業運営経費：施設で提供しているサービスや実施している事業などに要した経費（人件費も含む）



(2) 管理運営主体

市の公共施設の管理運営については、ほとんどの施設が市直営（業務委託等を含む）となっており、指定管理者による管理が行われている施設は7施設となっています。なお、梅の里センター、曾我みのり館、こどもの森公園「わんぱくらんど」及び辻村植物公園の4施設については、平成22年度より新たに指定管理者による管理運営が行われる予定です。

また、自治会による施設の維持管理・運営への参加など、一部の施設で地域参加による管理運営が行われています。

【指定管理者制度を導入している施設】

施設名	指定管理者	指定期間
7 市民活動サポートセンター	特定非営利活動法人 市民活動を支える会	H21.4.1～H26.3.31
17 鴨宮ケアセンター	社会福祉法人 小田原福祉会	H21.4.1～H24.3.31
23 障害者自立支援施設「梅香園」	社会福祉法人 よるべ会	H21.4.1～H26.3.31
24 障害者地域作業所「ありんこホーム作業所」	特定非営利活動法人 おだわら虹の会	H21.4.1～H24.3.31
25 歯科二次診療所	社団法人 小田原歯科医師会	H21.4.1～H26.3.31
32 いこいの森	小田原市森林組合	H21.4.1～H26.3.31
39 上府中公園(小田原球場等を含む)	小田原市公益事業協会・湘南ベルマーレ共同事業体	H21.4.1～H26.3.31

※平成21年4月1日現在

6. 公共施設に対する市民の意向・評価

施設サービスを含むそれぞれの事業分野に対する市民の意向・評価については、これまで市で実施した市民満足度・重要度調査の結果において以下のようになっています。

市民満足度・重要度調査

市民満足度・重要度調査は、市の施策を生活基盤施設や子育て環境整備、学校教育の充実など32の事業分野にまとめ、それに対する市民の満足度及び取組の重要度を調査し、その後の市の資源配分や施策の見直しに役立てる目的で、平成14年度から平成19年度まで合計6回実施しました。

平成19年の実施結果をみると、「窓口サービスの向上」などの市民サービスへの満足度が比較的高くなっています。また、「市立病院運営」「防災対策」「防犯対策」などの安全・安心の確保や、「環境保全対策」などの環境への取組及び「高齢者福祉」「子育て支援策」などの社会福祉サービスへの意識が比較的高いことが分かります。さらに、「文化芸術の振興」「市民活動の推進」「スポーツ振興」などの市民活動、余暇活動については、現状では比較的低い傾向になっています。

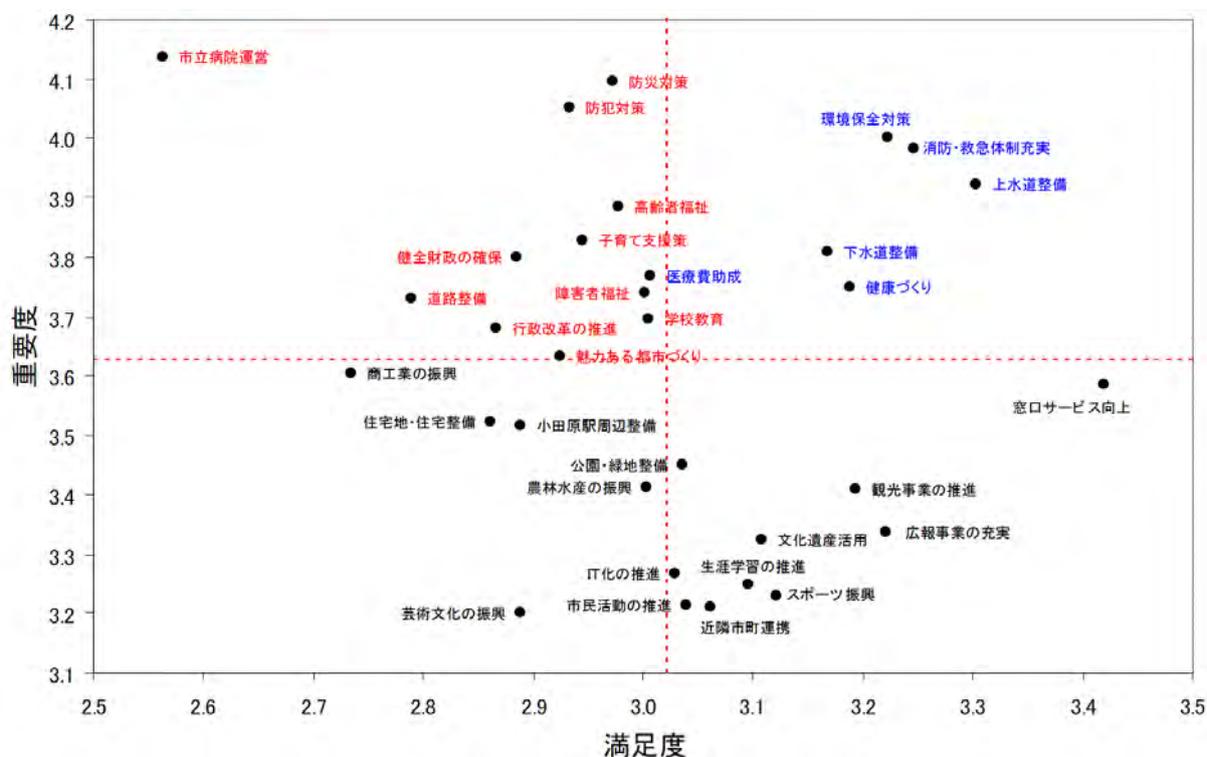


図 市民満足度・重要度調査結果（第6回、平成19年度）

※出典：第6回（平成19年度）小田原市 市民満足度・重要度調査報告書（平成20年5月）

